

いる。

今後は、駐車スペースを拡大させるほか、一筆書きで車両を流せる作業導線を採用した工場を増設するなど、これからも増加する入庫に対応していく考えだ。



## 保険会社と良好な関係作りで仕事を確保 ロナルド・ベーム (バーデン=ヴュルテンベルク州・メッケスハイム)

ドイツの南西部に位置する人口約6,000人の小さな町、メッケスハイムに工場を構えるロナルド・ベーム。

現在は、塗装10人、板金2人、見積り1人で、1日あたり5~8台の入庫に対応している。ドイツのポデーショップの平均スタッフ数は、塗装2~3人、板金1~2人。塗装担当が多いのは、同社が塗装をおもな事業としているためで、車以外にも医療機器などの塗装も行なっている。

### ■徹底した管理で、

#### 保険会社の品質チェックに対応する

同社は保険会社からの入庫が多く、全体の60%を占めている。残りはディーラーから20%、直需が20%で、「保険会社やディーラーからの仕事は一切レスが発生しない」(ロナルド・ベーム社長)という。

レーバレートは75ユーロ(10,500円)。従業員の賃金は1時間あたり14~20ユーロ(1,960~2,800円)となっている。基本的に土日は休みで、労働時間は1日7.7時間、週38.5時間を守っている。「想定外の入庫があれば残業も発生するが、できる限り週38.5時間をキープする」と社長は話している。

保険会社からの入庫確保に力を入れる同社は、品質管理を徹底。たまたに保険会社が抜き打ちで作業内容や仕上が



りをチェックするため、いつでも気は抜けないという。ドイツでは、板金と塗装をそれぞれ専門とする工場も少なくないが、「今の時代、両方とも手がけていないと保険会社からの入庫はない」。また、スタッフ10人以上の現場体制も最低条件となっている。

「バンパーはぶつけて当然」といった考え方が通常であるフランスやイタリアとは異なり、軽補修の需要をある程度見込めるドイツでも、「最近の物価高などの影響を受けて、バンパー

のすり傷などを修理する人の数は減少傾向にある」。また、事故を起こしにくい安全運転支援システムを採用した



ロナルド・ベーム社長